

公開講座「総合2020」俯瞰力～グローバルな視点で社会・自分を考える～

物語と女性



やまうち

山内マリコ氏(作家)

第21回 12月17日

13:00～14:30

リアルタイム配信

プロフィール

1980年富山県生まれ。大阪芸術大学映像学科卒。2008年「女による女のためのR-18文学賞」読者賞を受賞し、2012年『ここは退屈迎えに来て』（幻冬舎文庫）でデビュー。主な著書に『アズミ・ハルコは行方不明』『メガネと放蕩娘』など。『山内マリコの美術館は一人で行く派展』や『The Young Women's Handbook～女の子、どう生きる？～』などエッセイも多数。『あのかは貴族』が映画化され、2021年2月26日に全国公開予定。

スタッフより

学校や職場などの集団生活でよく目にする性差別・女性蔑視の問題ですが、実は小説などのフィクションにも潜んでいることをご存知でしたか？「物語で女性を犠牲にしない」ことをモットーに、女性を一人の人間として描くことを心がけていらっしゃる山内さん。今回はフィクションの観点からジェンダーについて考えてみませんか。